

製品概要

Brainware: 究極のインテリジェント キャプチャプラットフォーム

可視性を高めた自動データキャプチャ

企業がコストを抑えながら業務効率を上げ、ビジネスを成長させることは容易ではありません。さらに、業務では精度の高いデータが求められます。今日では、企業が重要文書を受け取ると、担当者が文書を整理して重要なデータを基幹システムに入力します。しかし、担当者がデータを取り込んだり検証したり、システムを更新したりするのでは処理を遅らせだけでなく、費用のかかる人為的ミスの危険にさらすことになります。その上、企業が成長するにつれ、追加のリソースに投資する必要があり、コストが増加します。

Brainwareは、文書や情報のキャプチャプロセスを自動化して、従業員がより価値の高いタスクやプロジェクトに集中できるようにします。

さらに、Brainwareには、自動化を次のレベルに引き上げるビルトイン インテリジェンスが組み込まれており、拡張性を提供します。付随のVisibility製品によって、文書やデータキャプチャプロセスに対する洞察力を向上させます。

自動データキャプチャにおける最大のメリット



プロセスのスピードアップ

キャプチャソリューションは、自動化や連携を通じて、検証や別のシステムへの配信を含むデータ抽出プロセスをスピードアップします。



企業全体にわたりコストを削減

手作業、データエラー、文書輸送を減少させることで、コストや誤った情報に基づいたビジネス決定を削減します。



労働力の最適化

人材を効果的に再割当てし、情報を受け取ると即時にアクセスを提供することで、担当者の生産性を高め、お客様サービスを向上させます。

Brainwareによるデータキャプチャ

Brainwareは、面倒な手作業を必要とする4つの業務を自動化します。



分類

Brainwareは、構造化文書、半構造化文書、フリーフォーム文書に対応し、自動的に文書の種類を把握します。



データ抽出

多様な方法で文書に存在する重要情報を判断し、OCR技術を駆使して自動的に抽出します。



データ検証

別のシステムとの連携や学習したインテリジェンスを活用することで、Brainwareは自動的に抽出した情報を検証し、疑問視されるデータがあればシンプルな検証画面上でユーザーに表示します。



情報とコンテンツの配信

Brainwareは、事実上、いかなるコンテンツや情報管理システムともやりとりして自動的に情報やコンテンツをどこにでも送信できます。



プロセスの可視性を向上

より良い可視性によってプロセス管理を向上します。BrainwareのVisibilityでは、Brainwareシステムのパフォーマンスを測定する価値ある分析が提供されます。成功の明確な指標によって、プロセスオーナーがBrainwareへの投資を正当化でき、マネージャーが時間とともに継続的にプロセスを改善できるようになります。

カスタマースポットライト

Old Dominion Freight Line

小口トラック貨物業界を牽引する超大型地域運送会社のOld Dominion Freight Line (ODFL)は、Brainware 送金処理を使用して売掛業務の価値と効率を高めています。このソリューションは、1時間で400から2,000の送金を処理し、売掛業務の生産性を約500%向上させました。

以前の手作業によるプロセスでは、送金数の増加に追いつかず、接客面で悪影響を与えました。「弊社が請求書を送信したり、お客様がオンラインでステートメントを確認したりすると、お客様が支払いしたにも関わらず、支払いがされていないと表示され、電話での確認を余儀なくされていました。さらに、処理されていないため、別の請求書を送信して支払いを要求する原因となっていました」。

「しかし、Brainwareの導入後、最新の記録を維持できるようになりました。事実、朝、だれもが出勤する前に処理され、送金業務の80%がオフィスに入る前に終了しています。導入したすべての自動化の結果、かつて2億ドルだった当社の売掛部門と同じ担当者数で、現在の15ドル規模のビジネスを行い、素晴らしい成果を挙げています。弊社のこの分野での継続する改善は、いくつかの取り組みによってもたらされますが、このソリューションが売掛担当者の効果的かつ効率的なレベルを維持する重要な要素であることは間違いありません。」と情報技術のバイスプレジデントであるKen Erdner氏が説明しています。

人間のようなインテリジェンスを持つ例外的な自動化

Brainwareのインテリジェンスは、文書分類やデータ抽出でより高い精度で自動化を実現し、お客様とのやりとりを減少させます。

パターンを判断する

Brainwareは、文書を読むことなく、パターンを判断してどこに情報があるか把握します。個々の文字や語句が見えない、ぼやけた文書を表示するように、表データの塊を認識して抽出領域にフォーカスを当てます。

この技術は、情報が表内のどこに存在するか判断することができ、表の大きさやページ全体で表が繰り返される回数に関係なく、情報を容易に見つけて識別し、正しく抽出することができます。

学習し適用する

このソフトウェアは、少数の例を知るだけで、特定の文書の種類の分類方法を理解できます。その結果、ページ上の単語の出現、色やスペース、画像を見ることで、多くのバリエーションにその分類を一般化して適用することができます。

さらに、ソフトウェアは、履歴やリアルタイムのデータ修正と手動によるデータ入力から学習し、情報を正確に取得する能力を向上させることができます。リアルタイムの修正によって、担当者が特定データポイントを取得する位置やデータがない場所に気づき、今後の状況を学習します。

相違を理解する

Brainwareは、他の製品がページ上の抽出情報や特定の座標を記憶する一方で、担当者のデータ修正を「観察」し、形式の変更やページ上の情報変更にも関わらず、学習内容を一般化して適用することができます。

他のシステムやデータベースと直接連携することで、情報のつづりが間違っていたり、変更したりしても、新しい情報を既存の情報と一致させます。比較して近い一致を推論するため、引き出されたデータの検証だけでなく、追加のフィールドに他のシステムからの関連情報が自動的に入力されます。

人間化の背後に人間

ハイランドでは、Brainwareのインテリジェンスを強化するため、神経科学、物理学、工学の修士号を持つ科学者を雇用しています。彼らは、人間の脳と感覚処理に関する専門知識と15年以上におよぶソフトウェアの開発経験を活かしてBrainwareの背後にあるアルゴリズムを開発しています。

評価された業界リーダーが構築

Brainwareの開発元であるハイランドは、25年以上にわたり、世界中のあらゆる規模の企業向けにコンテンツソリューションを構築してきました。有数の分析会社によって業界のリーダーとして評価されたハイランドは、キャプチャ技術、コンテンツ管理、ワークフローの自動化を含む広範囲のコンテンツサービスを提供しています。Brainwareをこれらのサービスとともに活用することで、完璧なビジネスコンテンツソリューションを構築することができます。

詳細は [Hyland.com/Brainware](https://hyland.com/brainware) をご覧ください。

Brainware[™]
by Hyland